

一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記の通り質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和元年 5月30日

議席番号

17番

東村山市議会議長 あて

質問者

木村 隆

記

1. 市の顔でもある東村山駅西口駅周辺の道路整備について

私は、市民安心・安全に暮らせるまち、まちづくりを願っております。そして子どもたちの声や、市民の笑顔あふれるようなまちづくりが大切だと考えております。その実現に向けては、市の中心核である東村山駅の周辺が元気になることが重要だと考えております。西口の駅前広場は車での送迎もできるようになり、歩行者が安全に通行でき待ち合わせなども出来るようになりました。そして、地下駐輪場やワンズタワーには公共の窓口もでき、市民の皆さまは利便性が大変向上したことを実感しております。一方で、都市計画道路の整備はなかなか進んでいないように見受けられます。日々の通勤・通学、また日常の通行に道路を利用します。それには学生の通学、社会人の通勤、あるいは園児が保護者とともに登園、買い物に出かける等々、安心して行き交える道路や防災に対応した道路。また、円滑な流通が可能となる道路が不可欠だと思います。そして都市計画道路を始め、道路整備は東村山駅西口周辺の重要な課題と考えます。なんとか具体的に前進して市の西側、北西部地域の魅力向上に努めてほしいと考え以下の質問をいたします。

- (1) 都市計画道路3・4・9号線のこれまでの取り組み状況を改めて伺う。
- (2) 都市計画道路3・4・9号線の今後の取り組みスケジュールを伺う。
- (3) 都市計画道路3・4・9号線は、将来的に東大和市まで続いて行きますが、市の意気込みについて伺う。
- (4) 都道128号線の道路拡幅整備についてのお考えを伺う
- (5) 都道128号線の無電柱化について都はどの様に考えているのか市として知っていればお聞かせください。

2. ふれあいとつながりを充実できる野口町集会施設の早期実現を

市民のコミュニケーション不足が指摘されている昨今であります。そのコミュニケーションの充実を図りたい市民の方が多くおられます。その一端が自治会であります。自治会活動もそれらの考えで多くの活動をされていると思います。コミュニティの充実こそが助け合いや支え合うことの向上と成り得ますし、それらが防犯や防災対策にも通じるものと言えます。また、若年層からご高齢者層、だれでも利用できるコミュニティスペースの充実こそが市民サービスの充実につながるものと考えます。また東村山市中央公民館で開催された東村山市の未来を考えるシンポジウムでも専門家の先生から「人が集える場所の必要性・重要性」を示しており、まさしく生き生きと笑顔で住み続けられる元気なまちにしていけるためにもひとつでも多く、この集える場所が欲しいと考えます。そこで予てからの町民の方々の要望でもあります地域集会施設の必要性を申し上げ、早期実現を心の底から願い、以下質問をいたします。

- (1) 令和元年度の野口町集会施設実現に向けた取り組み予定を伺う。
- (2) 野口町集会施設の実現に向けた見通しと、市の意気込みについて伺う。
- (3) 他の場所（予定地）を変えるお考えはあるのかについて伺う。
- (4) 例えば学校の空き教室とか、空き店舗とか、あるいは、公共施設とかを集会施設として利用できるものはあるのでしょうか伺う。

3. 鉄道交差化事業について

東京都と西武鉄道が行う「東村山駅付近の立体交差事業」は、平成 25 年 12 月都市計画事業認可、そして高架化工事は西武鉄道により平成 27 年着工されました。令和 6 年度の完成が予定されています。東村山駅周辺の将来像である「出会いふれあいがありぶらぶらと歩いて楽しいまち」とするための大きなチャンスでもあり期待をよせています。およそ 120 年前に東村山駅が住民の努力により誕生して、その後東村山市となり発展を遂げた訳ですが、人の流れが生まれてくる。ひいては市全体の活性化につながると考えます。この高架化事業に市民は大いに魅力が高まることを期待し願っていると思います。そこで質問をいたします。

- (1) 市民が集える場所となりえる駅前広場は、東西の広場同士つながるのか。また、そのお考えをお伺いします。
- (2) 24 時間自由に行き交える高架下の東西の連絡道の整備を地元として望んでおりますが その実現に向けて、市として都や西武鉄道に対してどのように協議を進めていくのかお聞かせください。